

世界が進むチカラになる。



経済調査

グラフで見る関西経済 (2025年11月)

2025年11月11日

調査部 主任研究員

塚田裕昭

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

今月の景気判断～横ばい圏で推移している

【今月のポイント】

- 関西経済は、横ばい圏で推移している
- 8月の生産は2ヵ月連続で前月比マイナスとなり、弱含んでいる
- 9月の実質輸出は3ヵ月連続で前月比でマイナスとなり、均してみると横ばい圏で推移している
- 個人消費については、万博やタイガース優勝などの影響で小売販売(名目)が拡大。実質でも8ヵ月ぶりにプラスとなった
- 8月の賃金(大阪)は、名目ではプラスが続いている。実質では2ヵ月ぶりにマイナスとなった

項目	現状
景気全般	横ばい圏で推移している
生産	弱含んでいる
輸出	横ばい圏で推移している
設備投資	増加している
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直している
個人消費	横ばい圏で推移している
住宅投資	横ばい圏で推移している
公共投資	例年並みの水準となっている

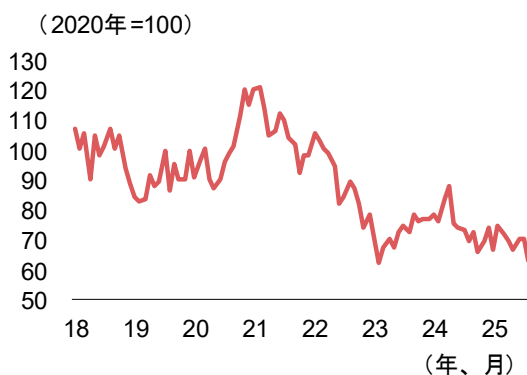
生産

8月の鉱工業生産(関西)は前月比-6.6%と2ヵ月連続でマイナスとなり、弱含んでいる。汎用・生産用・業務用機械は増加したが、電子部品・デバイス、電気機械、化学が減少した。先行きは、トランプ関税による下押し圧力により弱含みが続くと見込まれる。

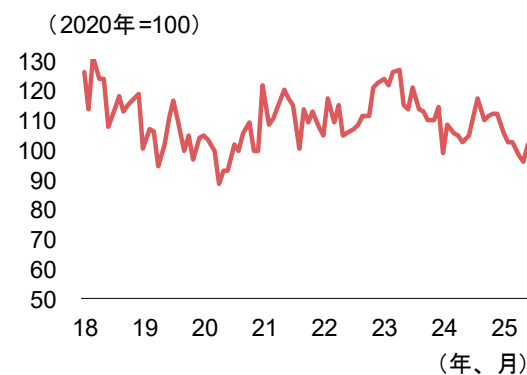
鉱工業生産指数



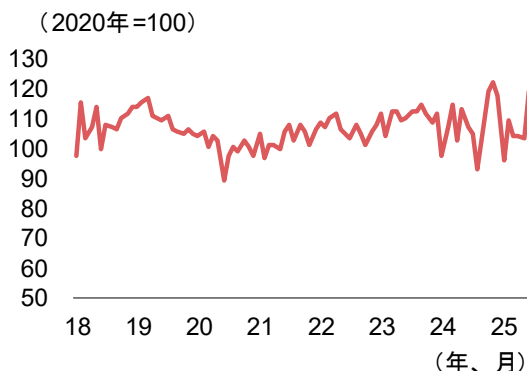
電子部品・デバイス



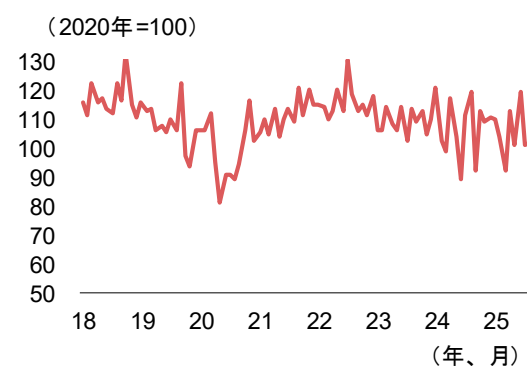
電気機械



化学



汎用・生産用・業務用機械

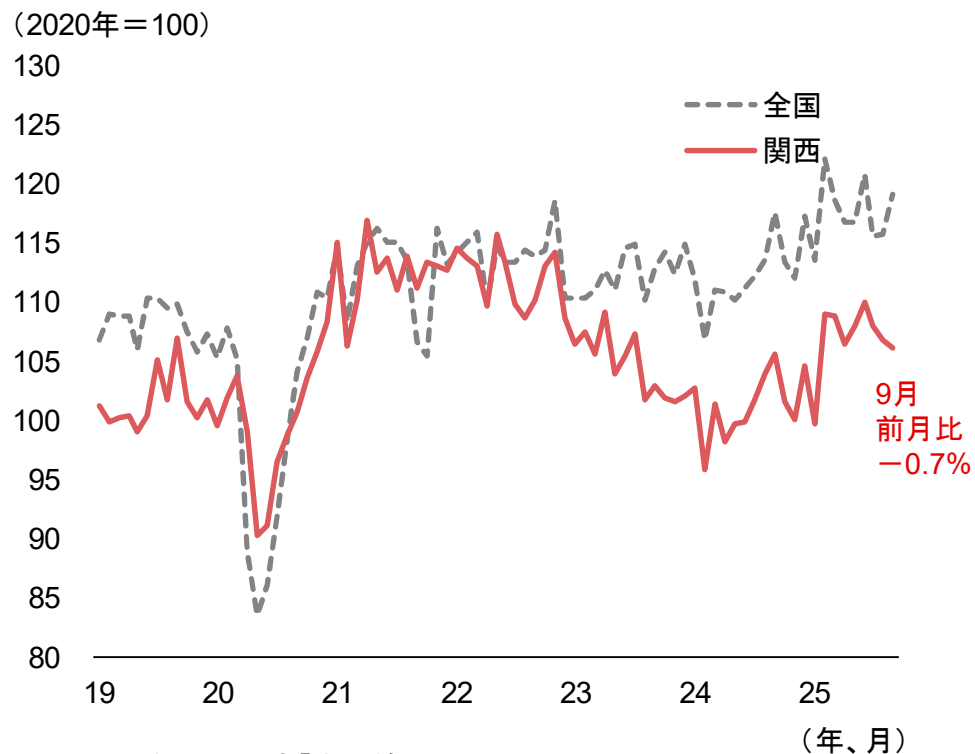


(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」

輸出

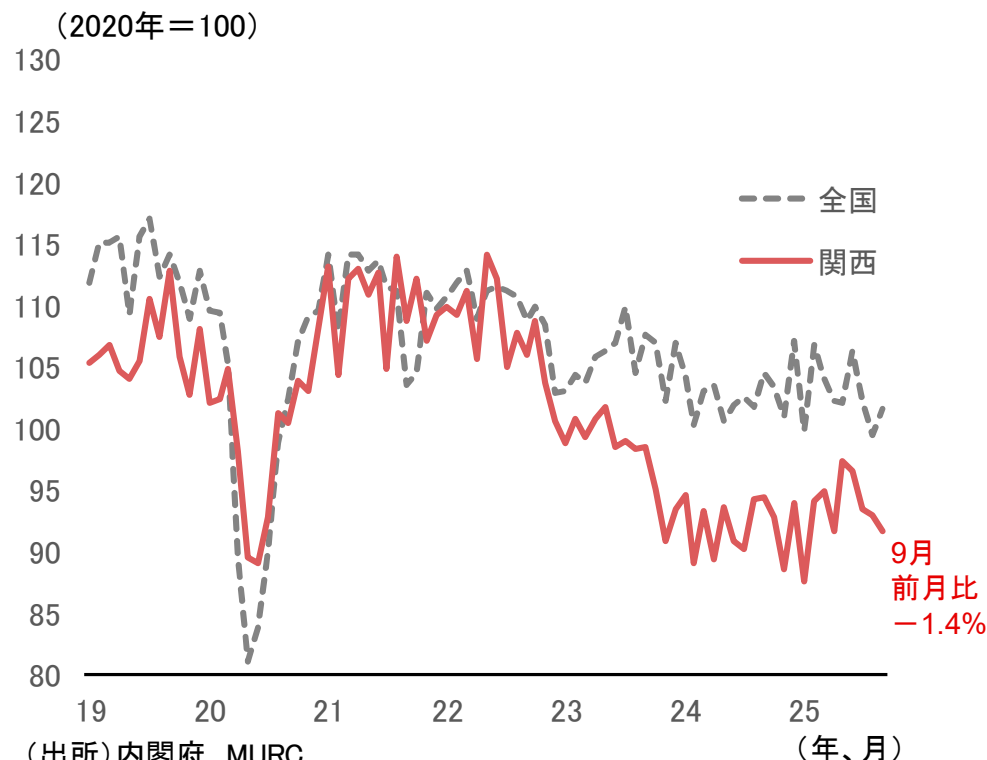
9月の実質輸出(季節調整値)は、前月比 -0.7% の106.1と3ヵ月連続で減少した。均してみると横ばい圏で推移している。当社試算による9月の輸出数量(季節調整値)は4ヵ月連続で減少した。先行きについては、トランプ関税による海外の景気減速から下振れるリスクがある。

実質輸出指数(季節調整値)



(出所) 日銀大阪支店「実質輸出入」

輸出数量指数(季節調整値)



(出所) 内閣府、MURC

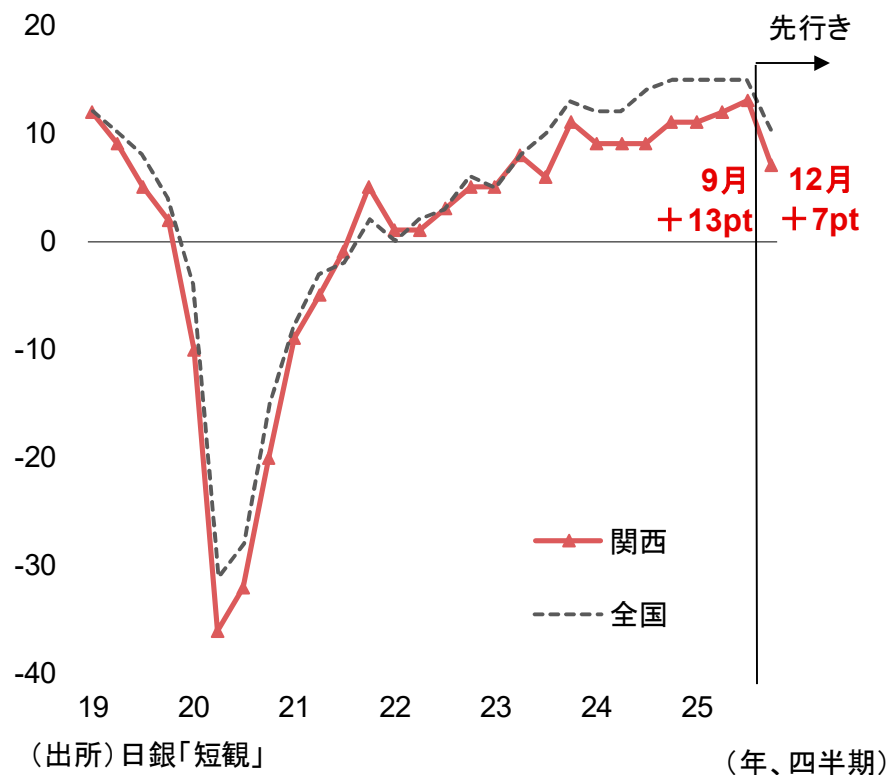
(注) 関西の数量指数はMURC試算。輸出金額(指数)を輸出価格指数(全国)で除したもの。

企業景況感(日銀短観)

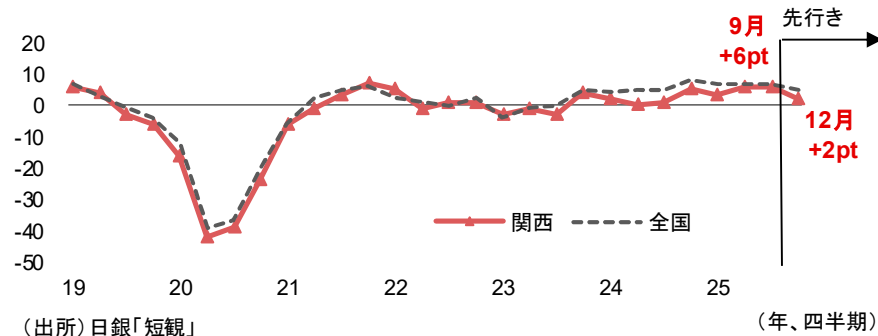
※以下は10/1公表の9月調査。12月調査は12/15公表予定調査。

日銀短観9月調査の業況判断DI(「良い」-「悪い」)は、全産業で+13ptと6月調査から小幅改善。製造業は+6pt、非製造業は+19ptといずれも横ばいとなった。業種別に見ると、製造業では化学、非鉄金属、はん用・生産用・業務用機械などが上昇。非製造業は建設、不動産が上昇した一方、宿泊・飲食サービスが低下した。先行き(9月)については、製造業、非製造業ともに低下が見込まれている。

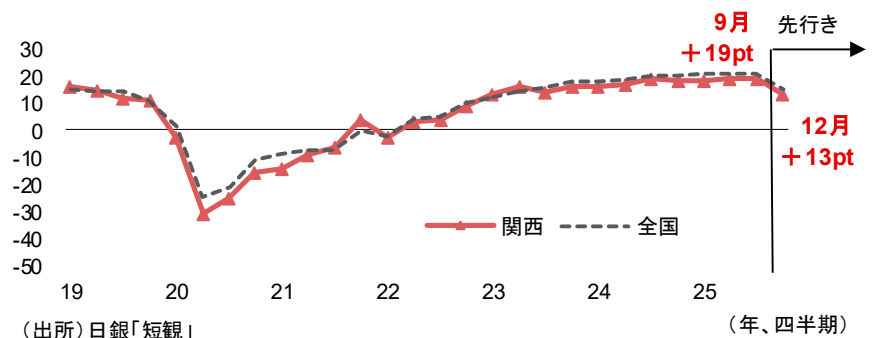
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業



同 非製造業

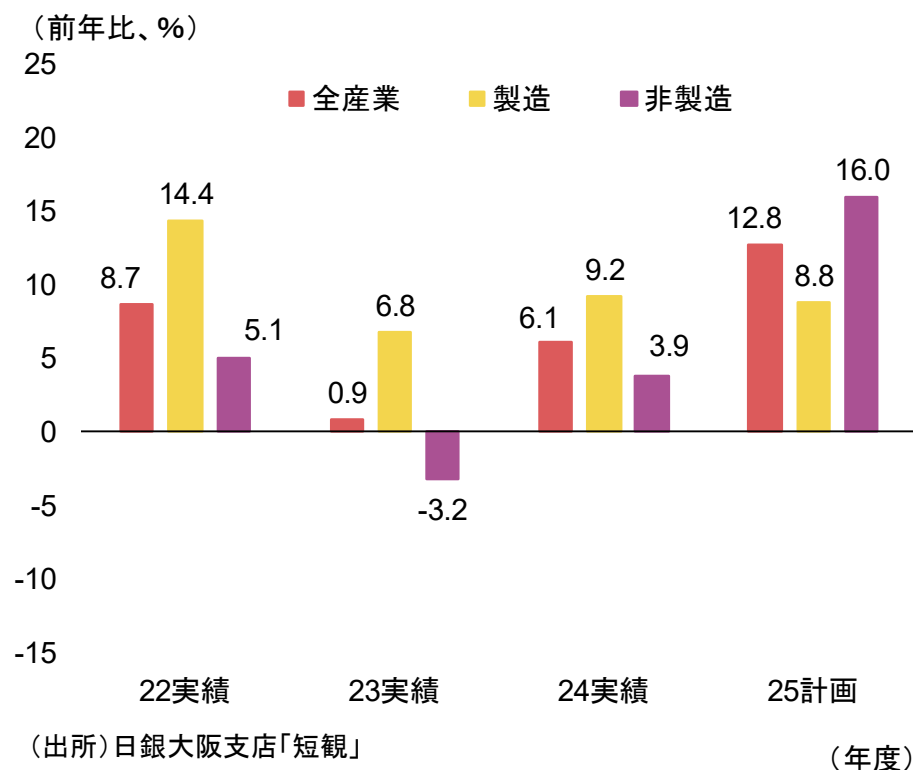


設備投資(日銀短観)

以下は10/1公表の9月調査。12月調査は12/15公表予定

日銀短観9月調査によると、24年度の設備投資は全産業で+12.8%の計画となっており、企業の設備投資意欲は引き続き強い。業種別では、食料品、金属製品、輸送用機械、建設、小売などが前年比大幅増の計画となっている。

設備投資 実績・計画



設備投資額(前年比%)

	24年度 実績	25年度計画		
		今回調査	前回調査との 差異	前回調査
全産業	6.1	12.8	(0.3)	12.5
製造業	9.2	8.8	(1.0)	7.8
非製造業	3.9	16.0	(-0.3)	16.3

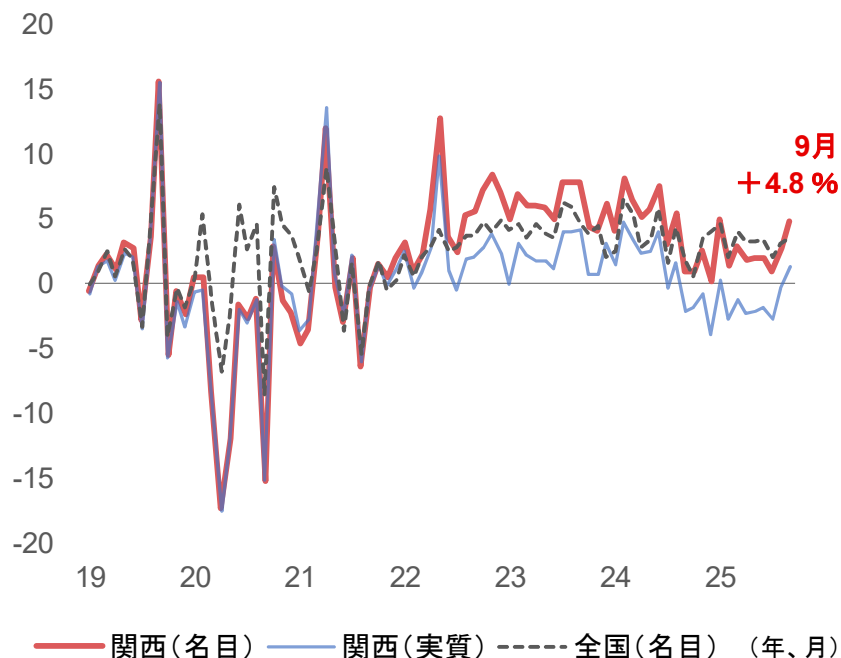
個人消費(小売売上、自動車販売)

9月の小売販売額(名目)は、前年比+4.8%と21年10月以降増加が続いている。実質値は前年比+1.3%と8カ月ぶりにプラスとなった。

9月の新車販売は、前年比-5.1%と3カ月連続で減少。普通車、小型車、軽自動車いずれも減少したが、小型車の減少幅が大きかった。

小売販売額(6業態計)

(前年比、%)

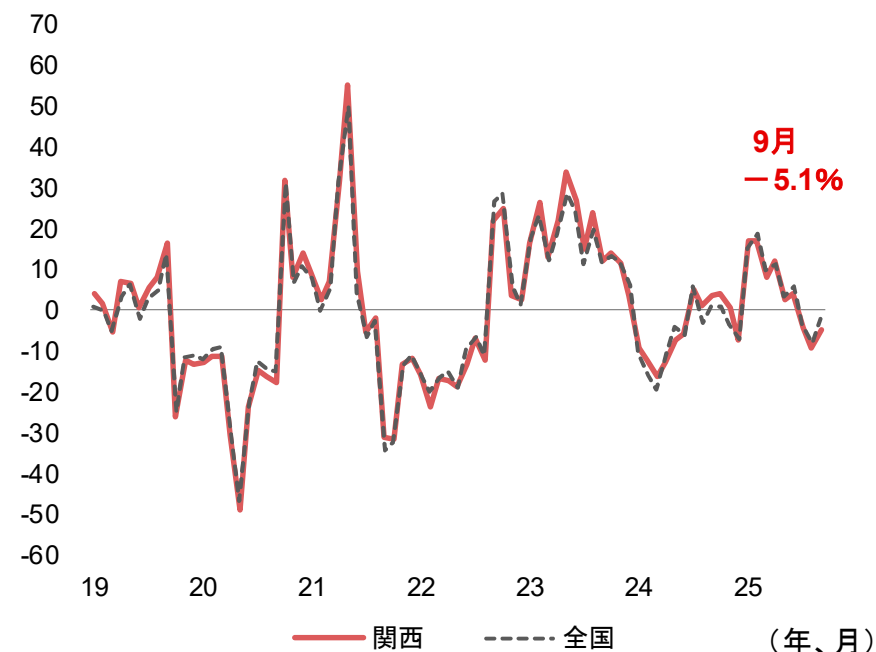


(出所) 経済産業省「商業動態統計」からMURC試算

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計
「持家の帰属家賃を除く総合(関西)」で実質化

新車販売台数(含む軽)

(前年比%)



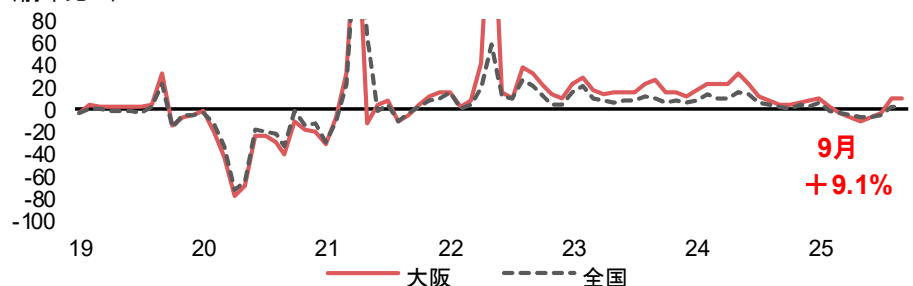
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

9月の百貨店売上(大阪)は、前年比+9.1%と2ヵ月連続でプラスとなった。阪神タイガース優勝セール、大阪・関西万博効果などがプラスに寄与した。京阪神百貨店免税売上指数は前年比+2.6%の1,901.2と2ヵ月連続でプラスとなった。

百貨店売上高

(前年比%)



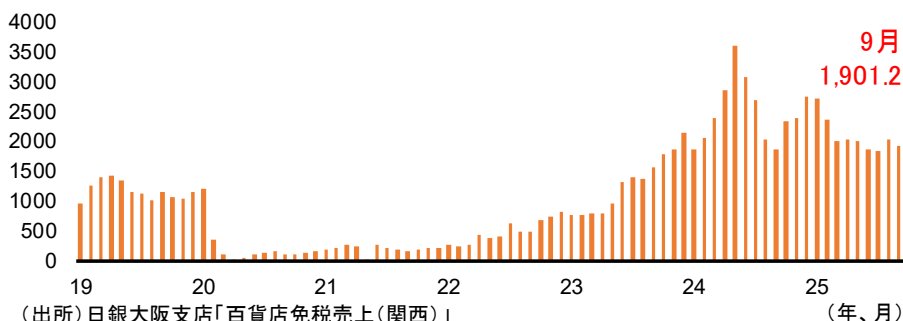
(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

(注) 店舗調整後前年比

(年、月)

京阪神百貨店免税売上高

(2013/4=100)

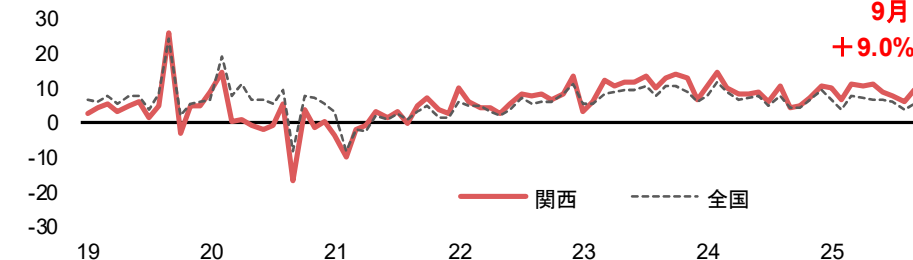


(出所) 日銀大阪支店「百貨店免税売上(関西)」

(年、月)

ドラッグストア販売額

(前年比、%)

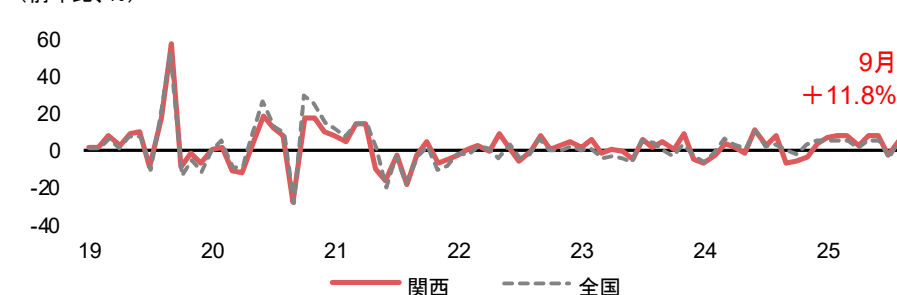


(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(年、月)

家電大型販売店販売額

(前年比、%)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(年、月)

マインド・景況感

10月の消費者態度指数(季節調整値)は35.7と3ヵ月連続で上昇した。

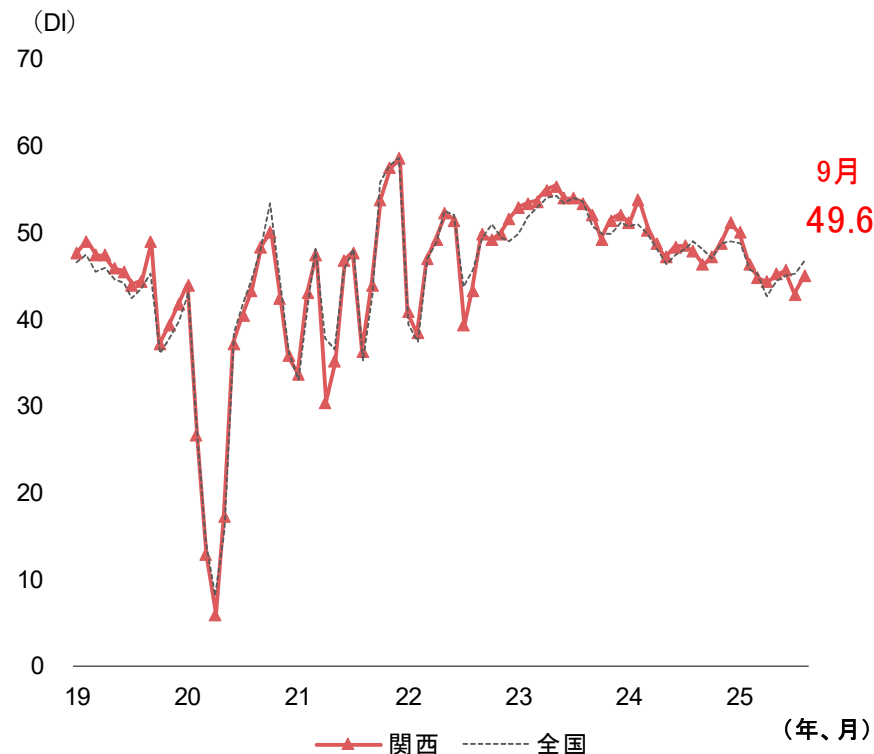
9月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI、季節調整値)は前月差4.7pt上昇の49.6となったが、横ばいを示す50を下回る状態が続いている。大阪・関西万博のプラス効果、インバウンドの復調をあげる声が散見される一方、物価高による支出控えも指摘されている。

消費者態度指数



(注) 関西の季節調整値はMURC試算
(出所) 内閣府「消費動向調査」

景気ウォッチャー調査(現状判断)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

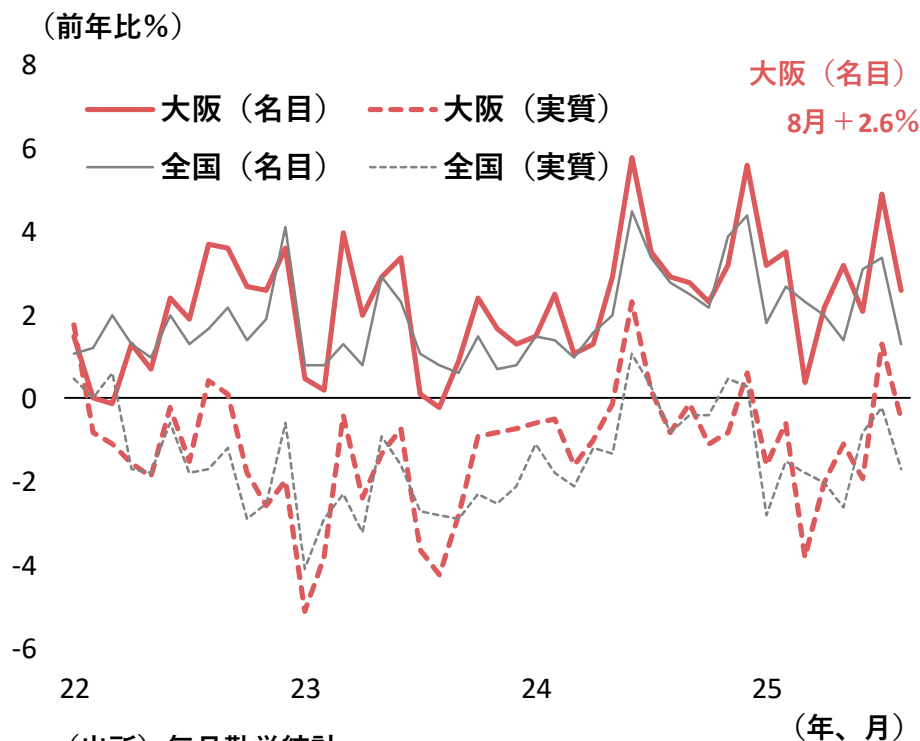
賃金・雇用

8月の大阪の賃金指数は、名目で前年比+2.6%と前年比プラスが続いている。実質では同-0.5%と2カ月ぶりにマイナスとなった。

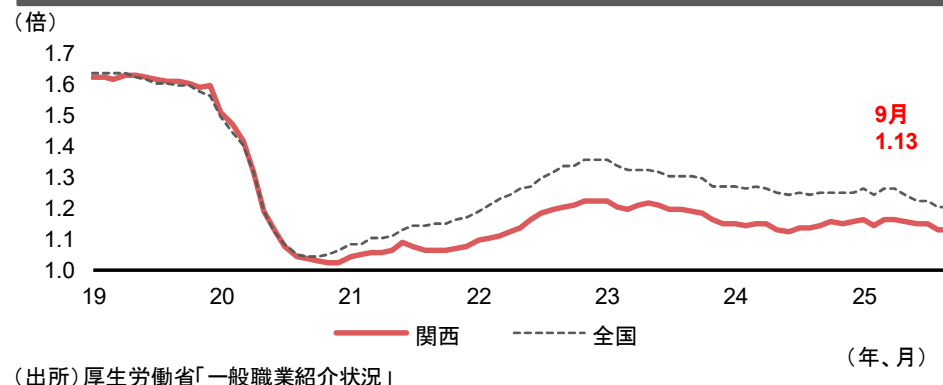
9月の関西の有効求人倍率は1.13倍と前月と同水準。求人倍率は全国と比べ低めで推移している。

25年7-9月期の失業率は2.7%と前期から0.1%pt上昇、就業者数は小幅減少した。

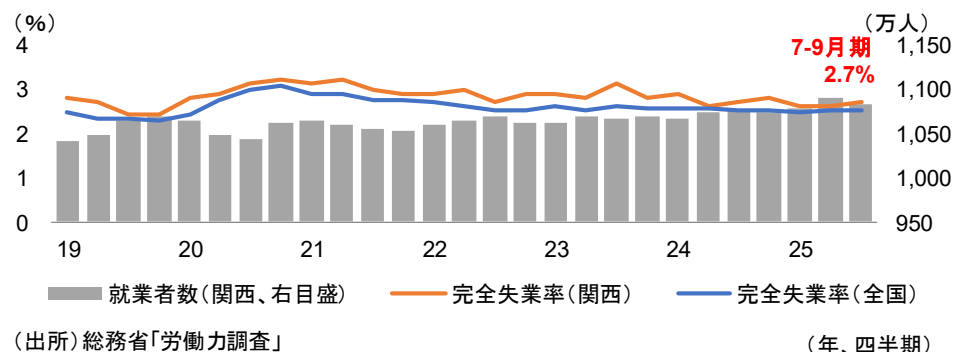
名目賃金指数



有効求人倍率(季節調整値)



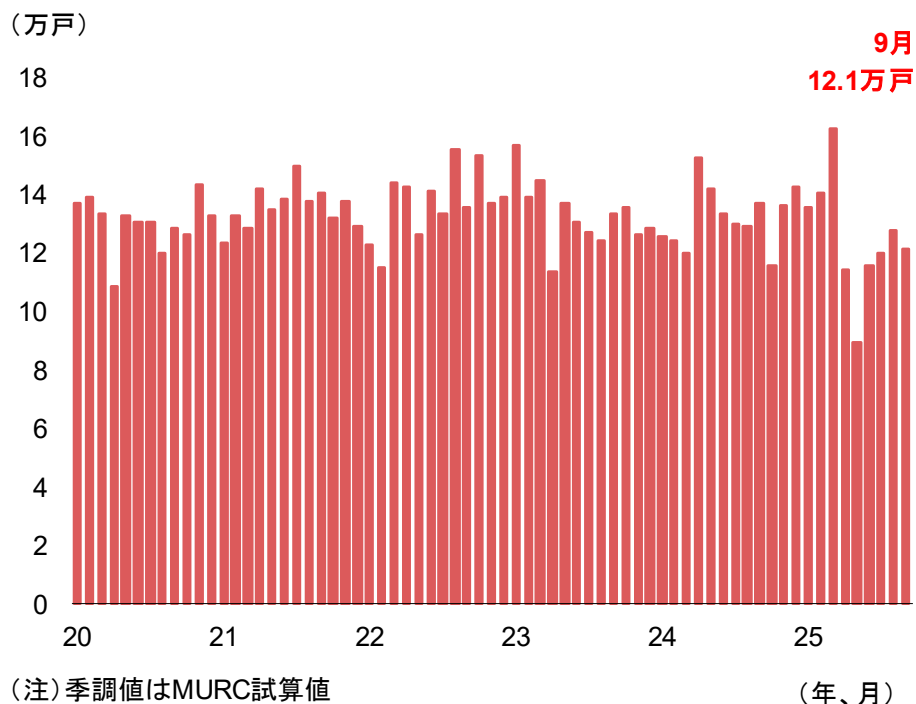
失業率と就業者数(季節調整値)



住宅投資

9月の住宅着工は、季調・年率12.1万戸と4ヵ月ぶりに減少したが、3月に省エネ基準への適合義務化等を前に全国で駆け込みが生じたことの反動減は徐々に解消しつつある。前年比では－11.3%と減少。先行きは駆け込み前の水準に戻した後、横ばい圏での推移を見込む。

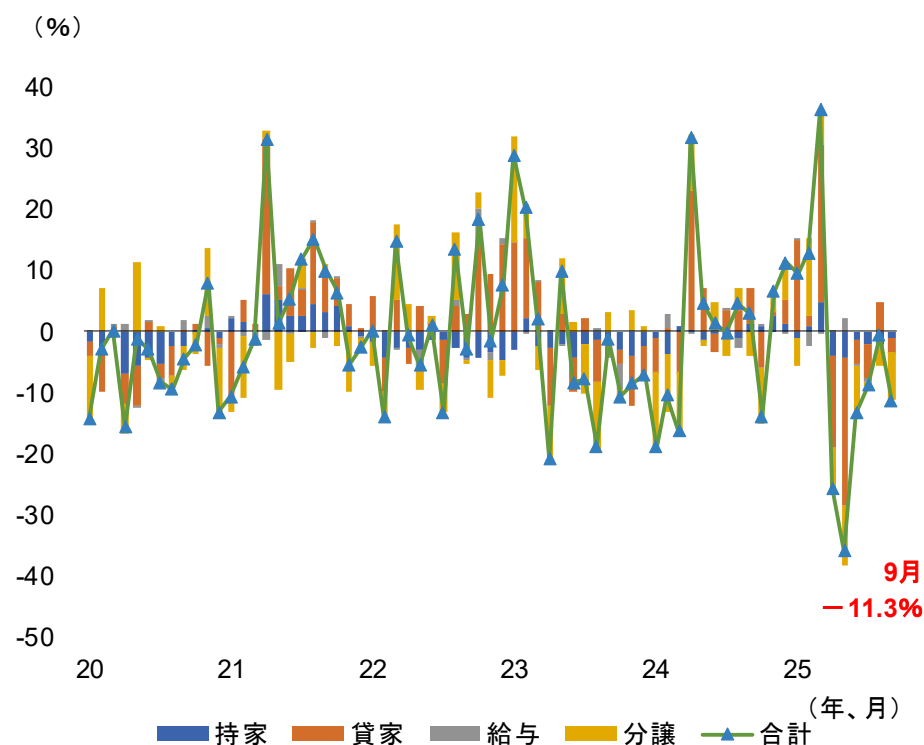
新設住宅着工戸数(季調済年率換算)



(注) 季調値はMURC試算値

(出所) 国土交通省「建築着工統計」

新設住宅着工戸数(前年比)

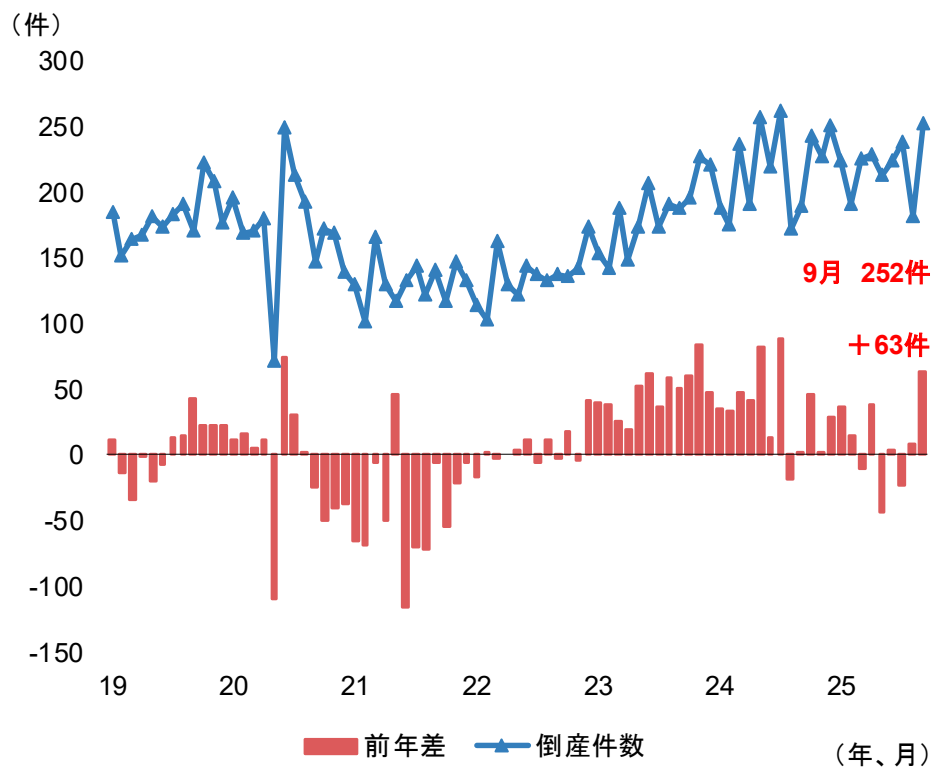


(出所) 国土交通省「建築着工統計」

倒産

9月の倒産件数は252件と前年から63件増加。均してみると、コロナ前と概ね同程度の水準で推移している。

倒産件数

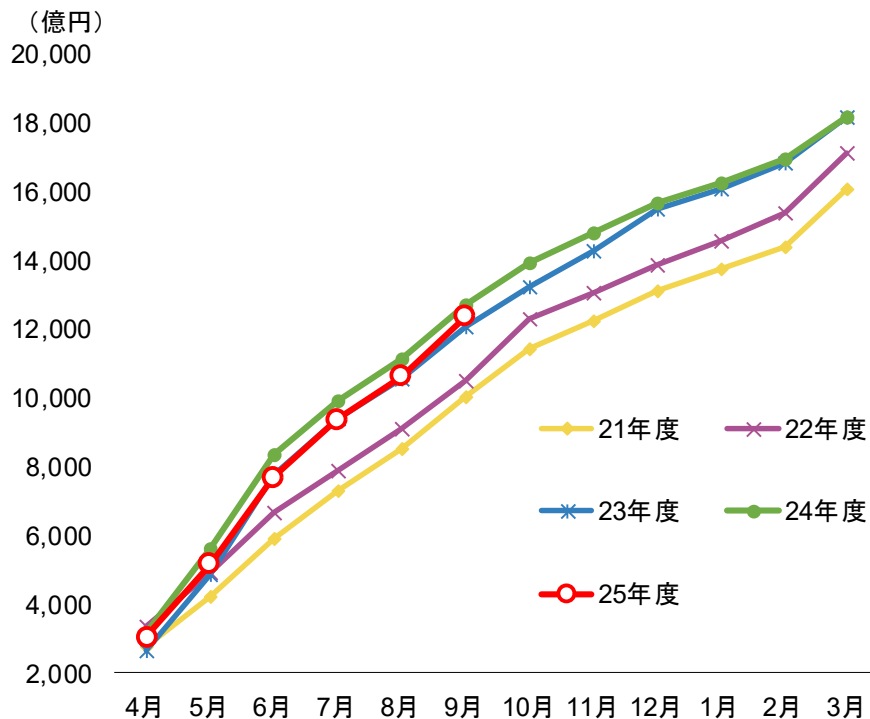


(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

9月の公共工事請負金額(年度累計)は、前年比-2.7%の1兆2,377億円。概ね例年並みの水準となっている。

公共工事請負金額(年度累計)



(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 塚田

TEL: 03-6733-1626 E-mail: chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー